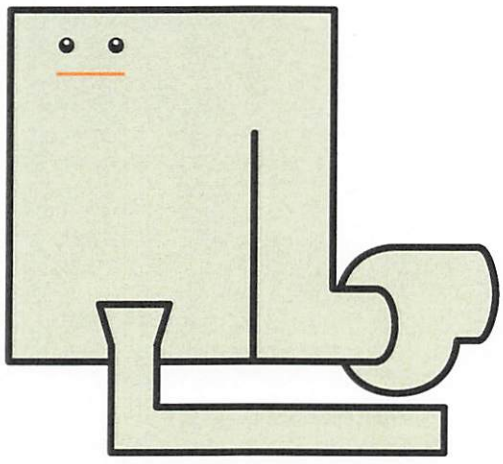
1：ペレットストーブはどんな仕組みで空間を温めるのか？

❶温かい空気を作る

ペレットストーブは排気ファンで燃焼室内の空気（燃焼中は排気ガス）を外に出す勢いで燃焼室に負圧を発生させ、その負圧で外から新鮮な空気を取り込んで燃焼しています。

①



②



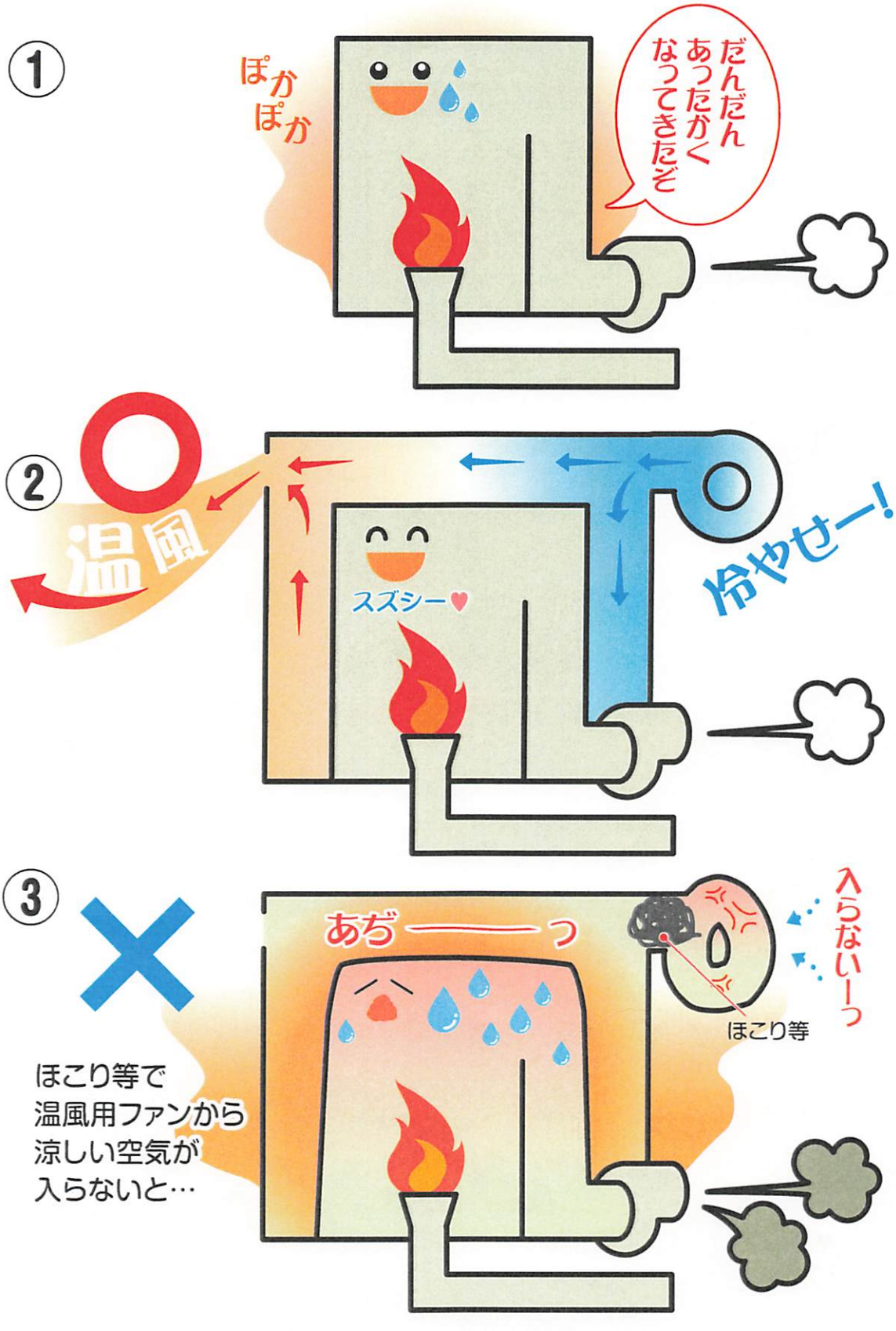
③



1：ペレットストーブはどんな仕組みで空間を温めるのか？

❷温風を発生させるしくみ

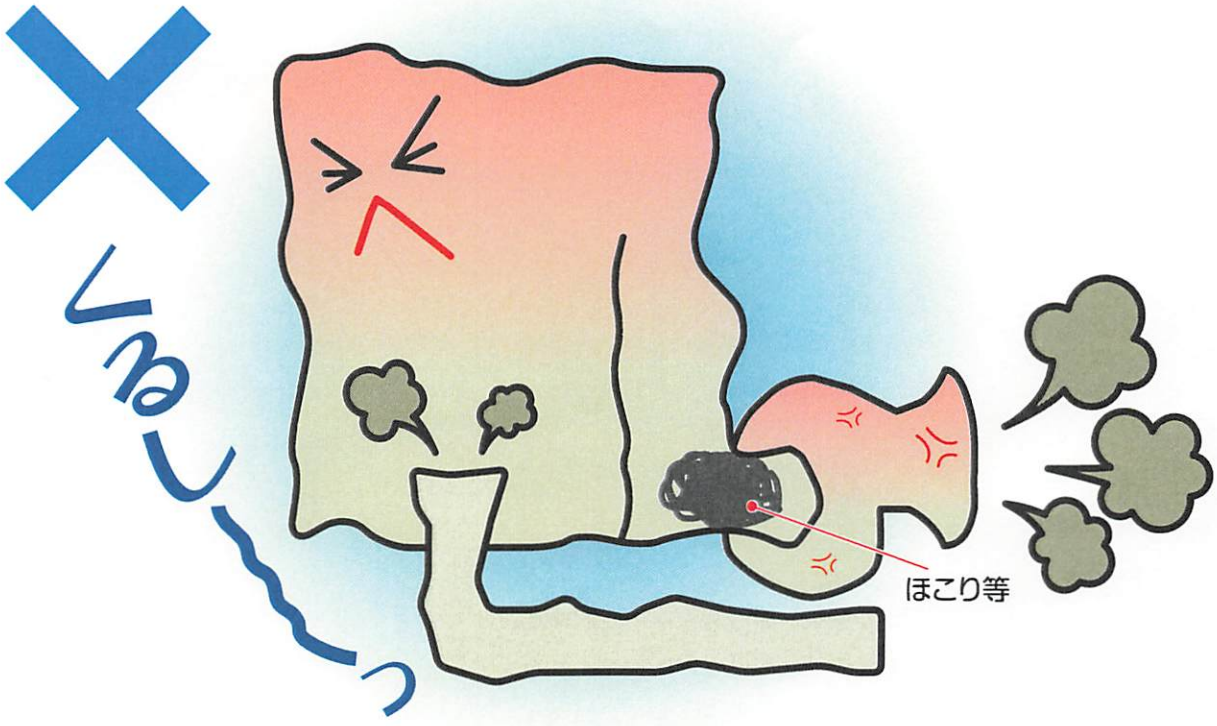
ペレットが燃えると燃焼室のまわりがあたたまります。温風ファンで部屋の空気を取り込み、燃焼室のまわりから熱を受け取り、部屋に温風として戻します。

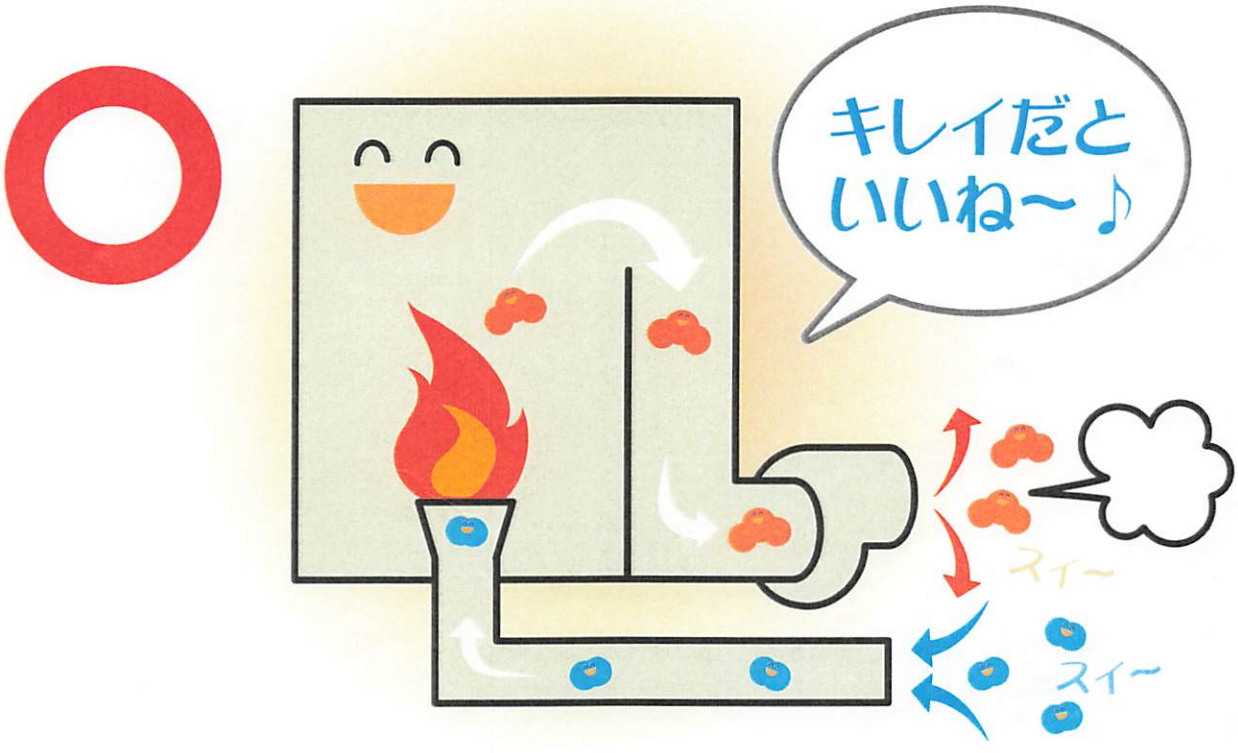


2：ペレットストーブが元気に動く為には…

❶煙管をキレイにする

煙管が詰まると燃焼ガスが燃焼室に留まり外から新鮮な空気を取り込めずさらに燃えにくくなる。

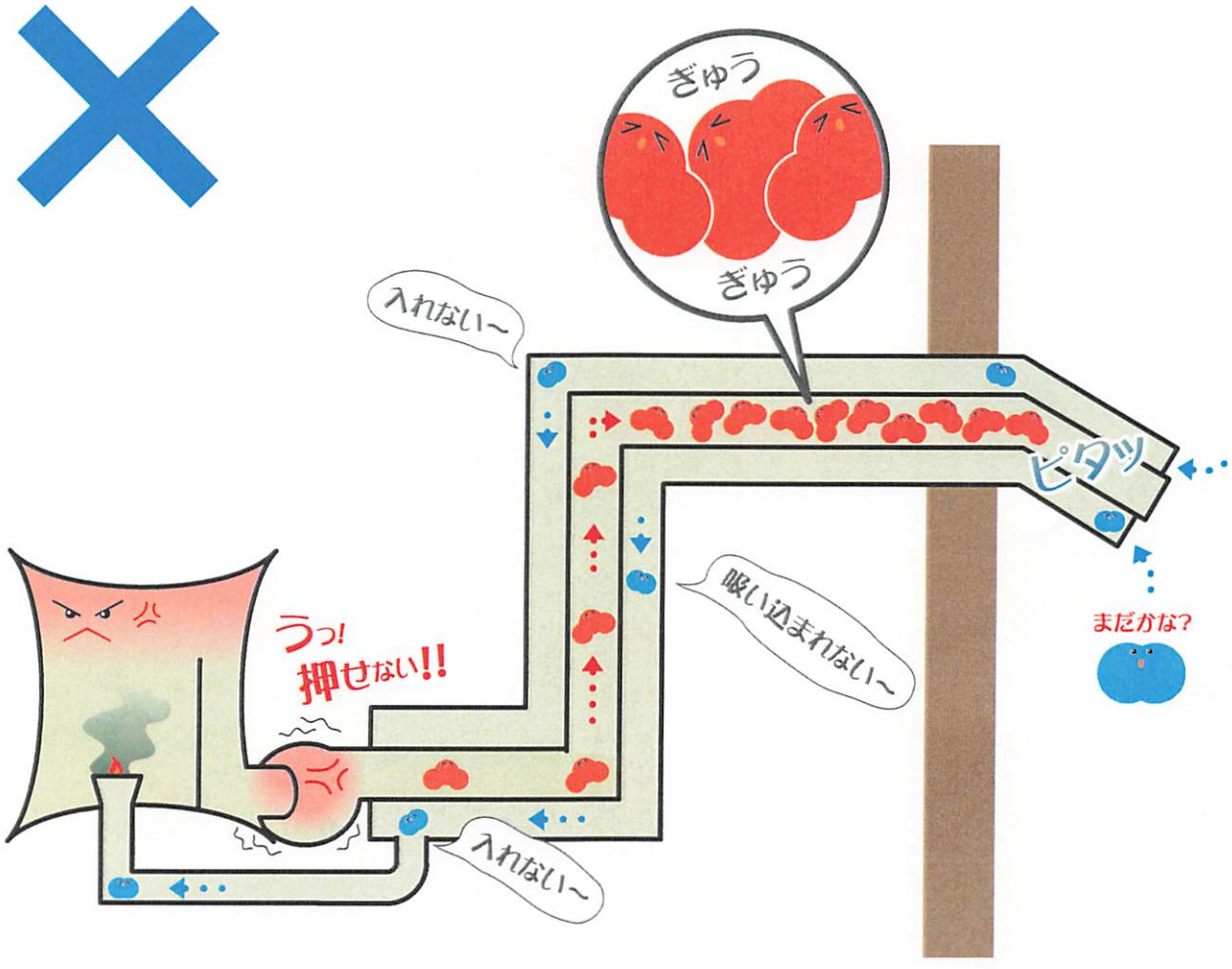


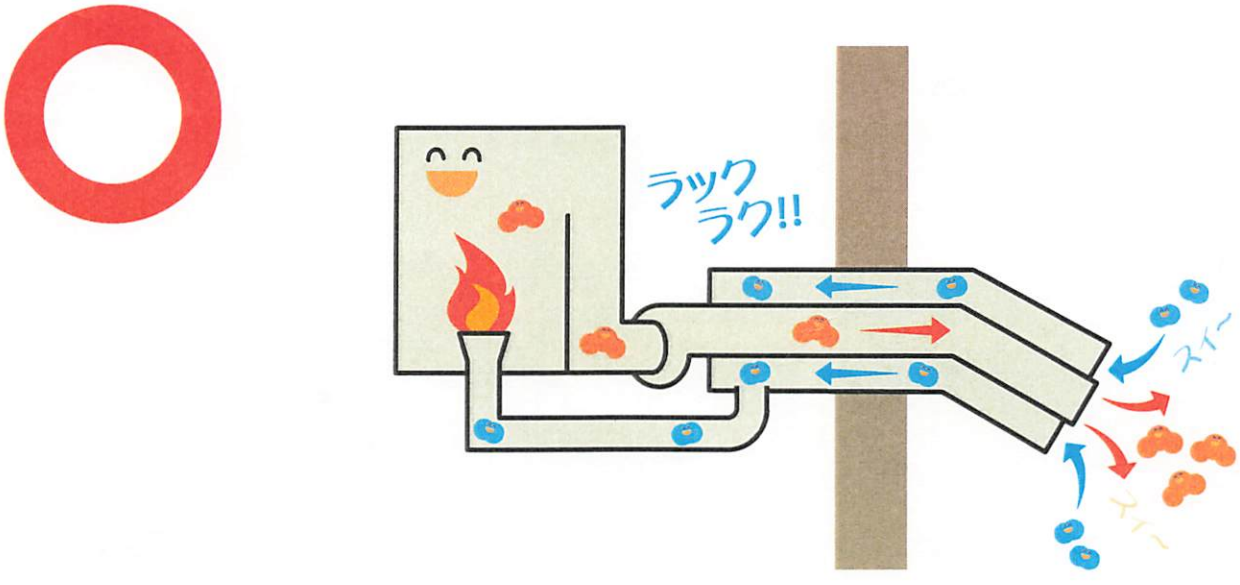


2:ペレットストーブが元気に動く為には…

❷配管は短めにする

配管が長いと燃焼ガスを追い出しにくくなるから酸素が入っていかない。

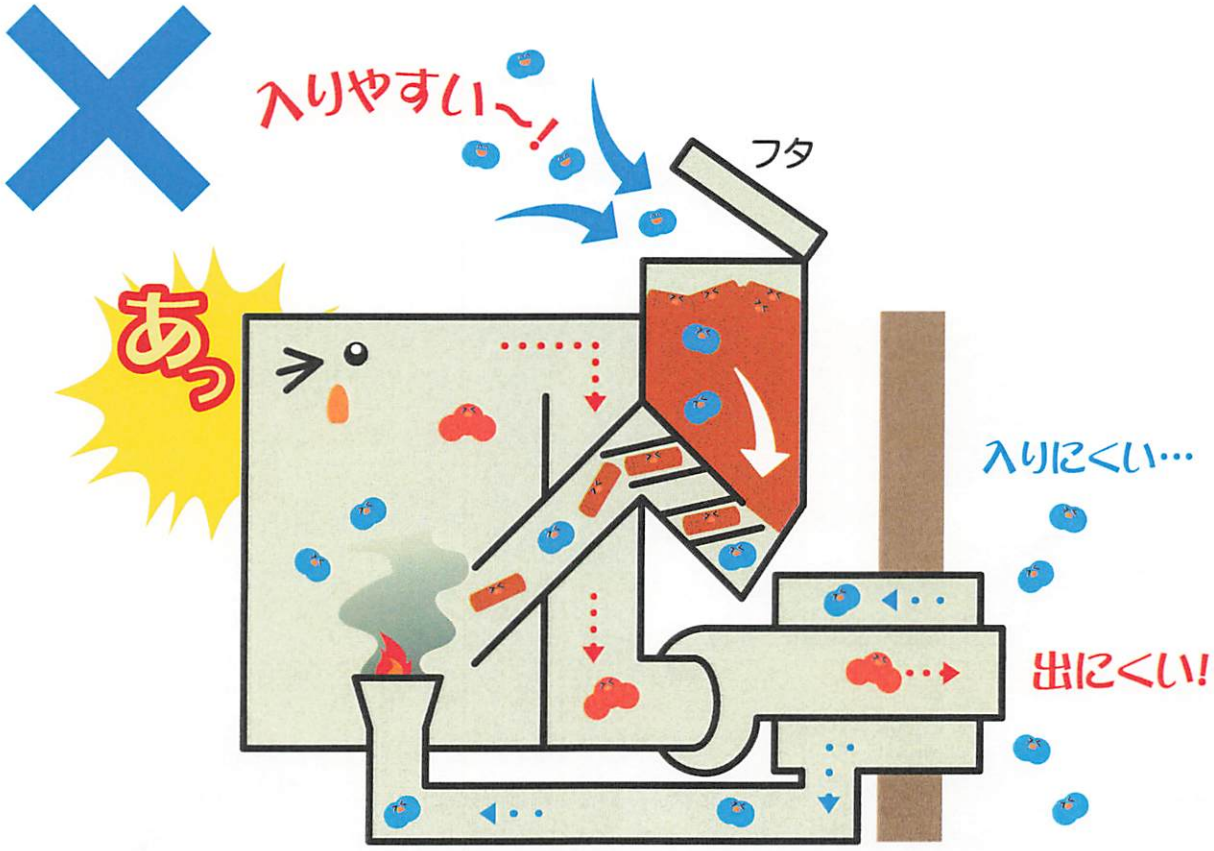


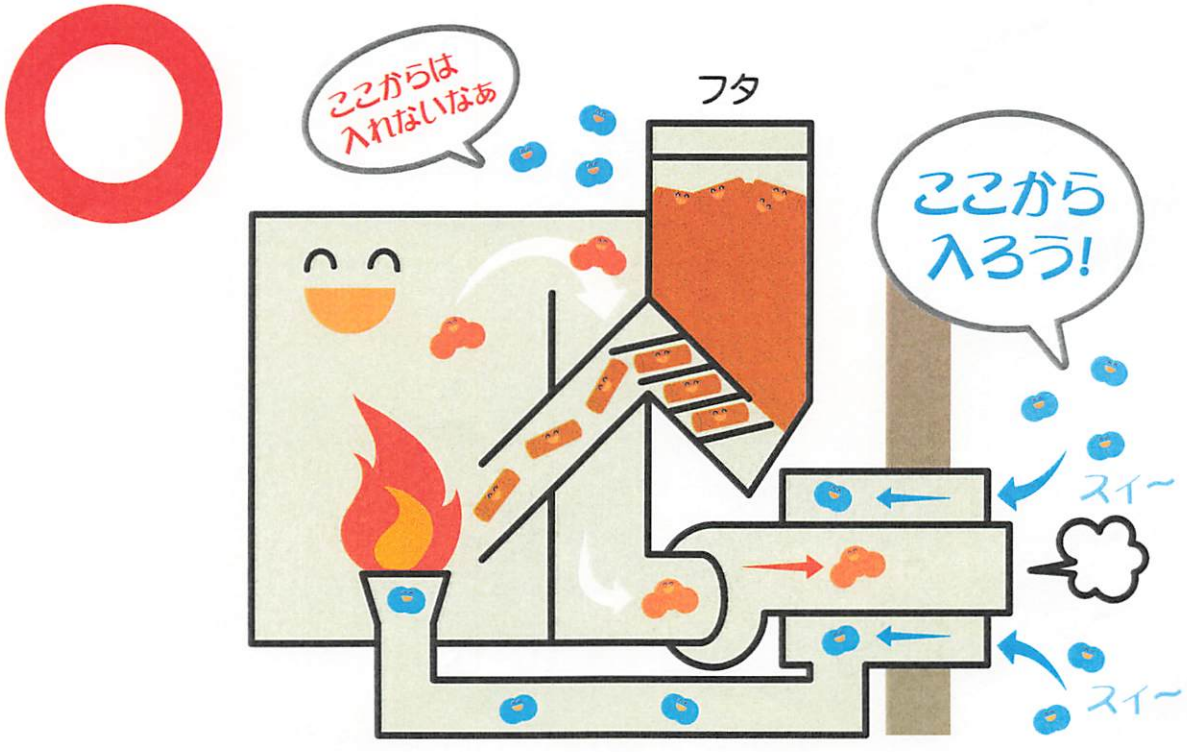


2:ペレットストーブが元気に動く為には…

❸タンクのフタはきちんと締める

ペレットを入れるタンクのフタが開いているとそこから部屋の空気を吸ってしまい、給気管から入っていかなくなる。そうすると、ペレットが良く燃えなくなる。

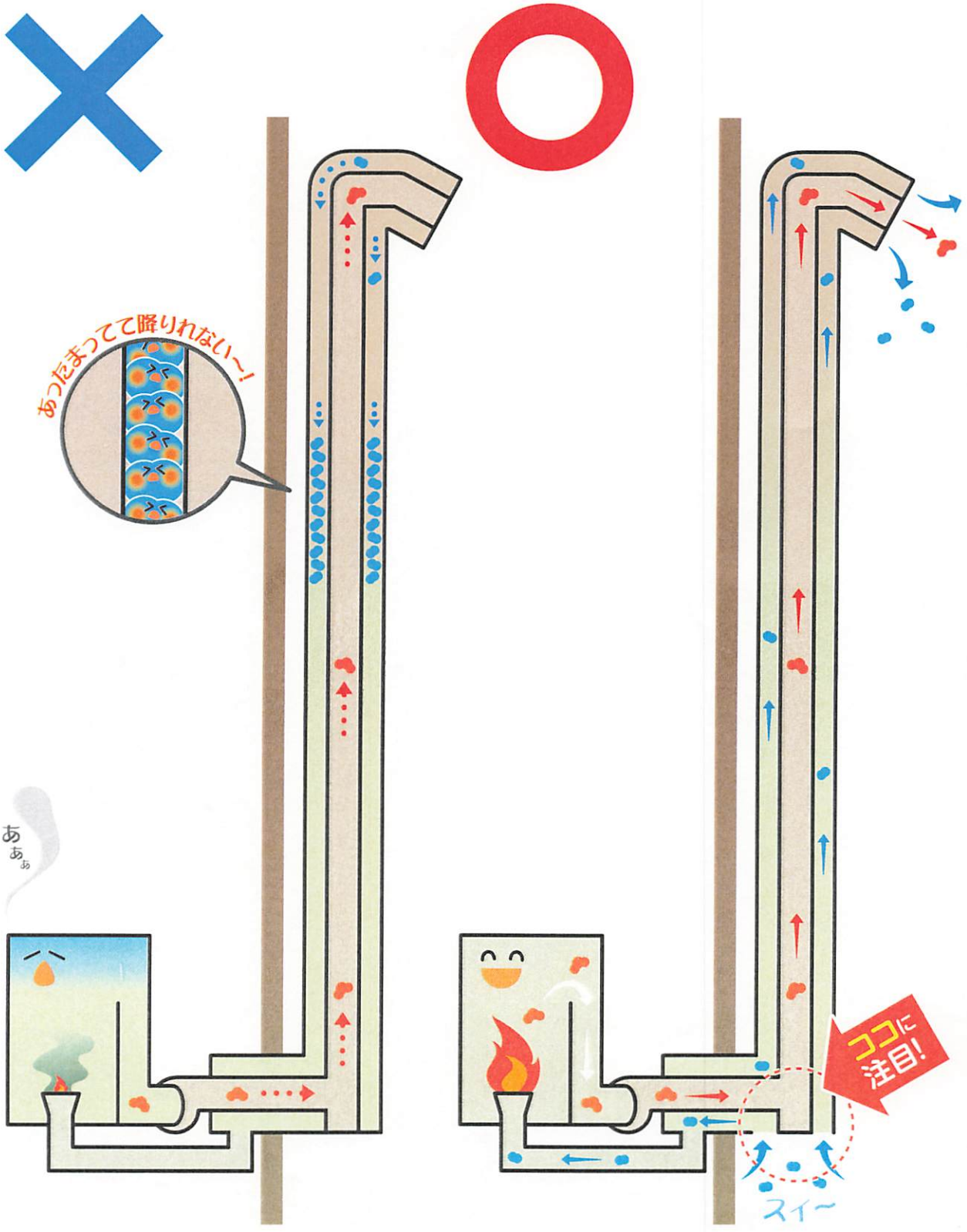




2:ペレットストーブが元気に動く為には…

❹給排気管の立ち上げが高い時は給気口を別に付ける

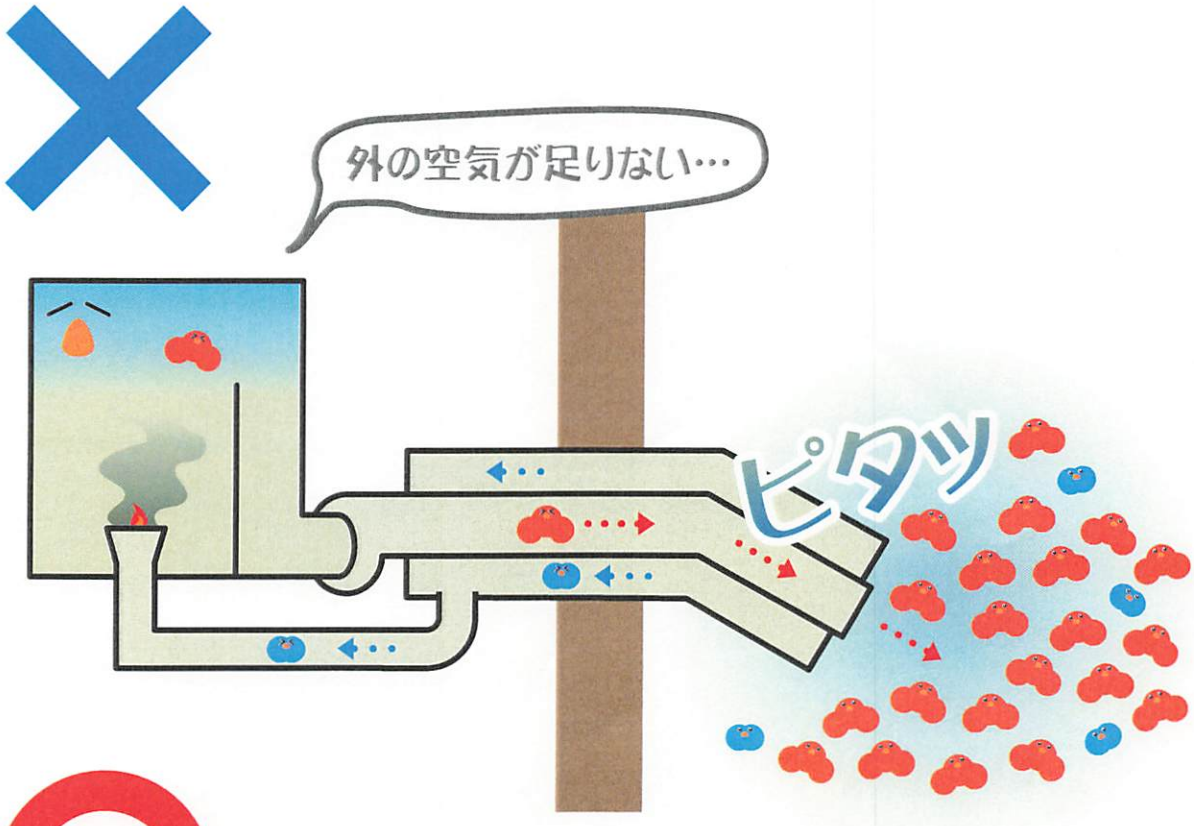
立ち上げが高いと、外の空気が温まって管内を降りにくくなるから燃焼室まで外の空気が届かない。

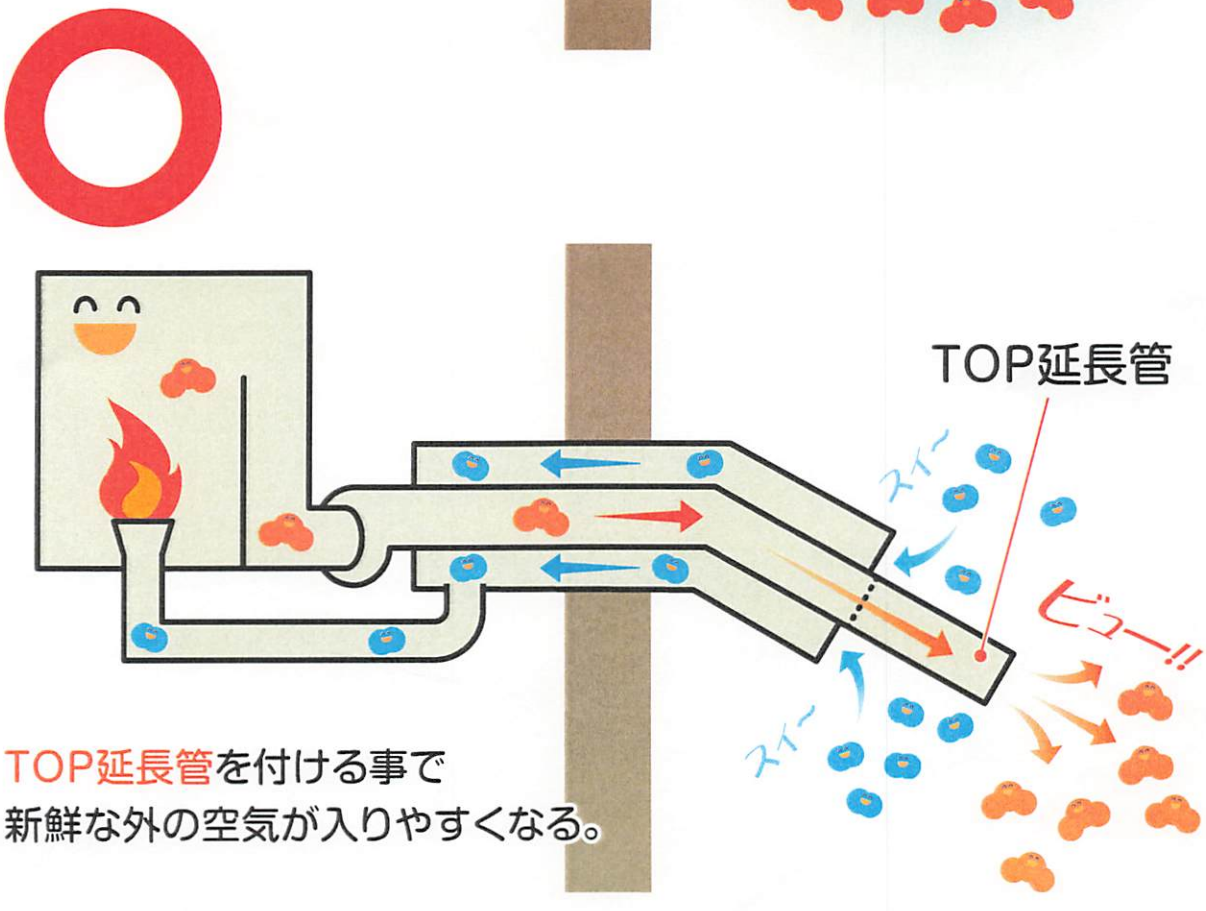


2：ペレットストーブが元気に動く為には…

❺外の空気の循環が悪い場所ではTOP延長管を付ける

外の空気が淀んでいる場所では排気した燃焼ガスが給気の邪魔をするので、うまく外の空気を取り込めない。



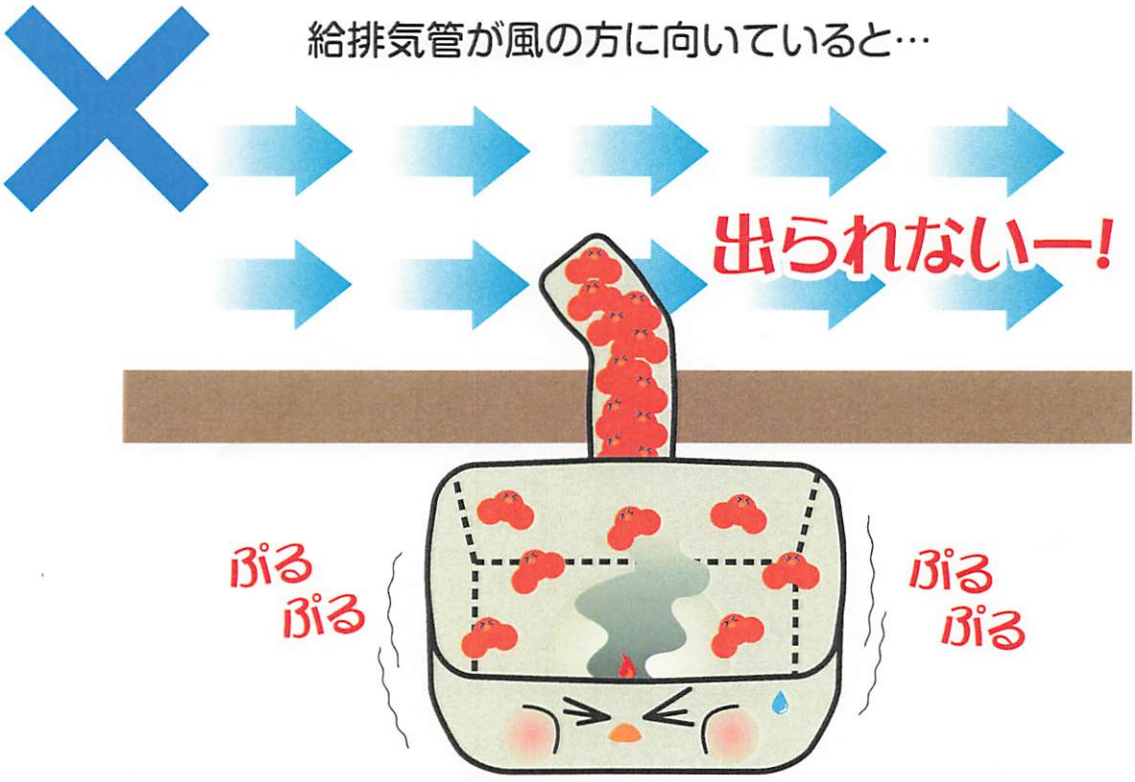


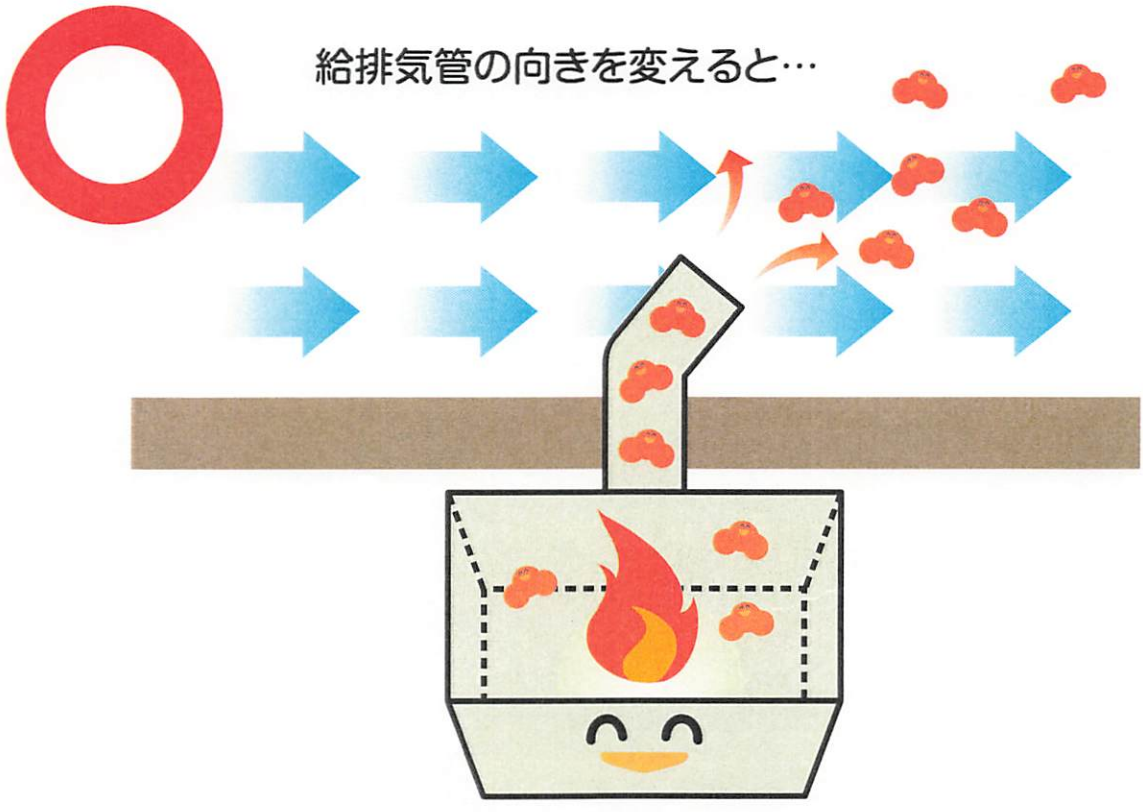
TOP延長管を付ける事で
新鮮な外の空気が入りやすくなる。

2：ペレットストーブが元気に動く為には…

❻風の向きとは逆に管を取り付ける

給排気管が風の方を向いていると燃焼ガスが出て行きにくくなるので、うまく外の空気が取り込めない。



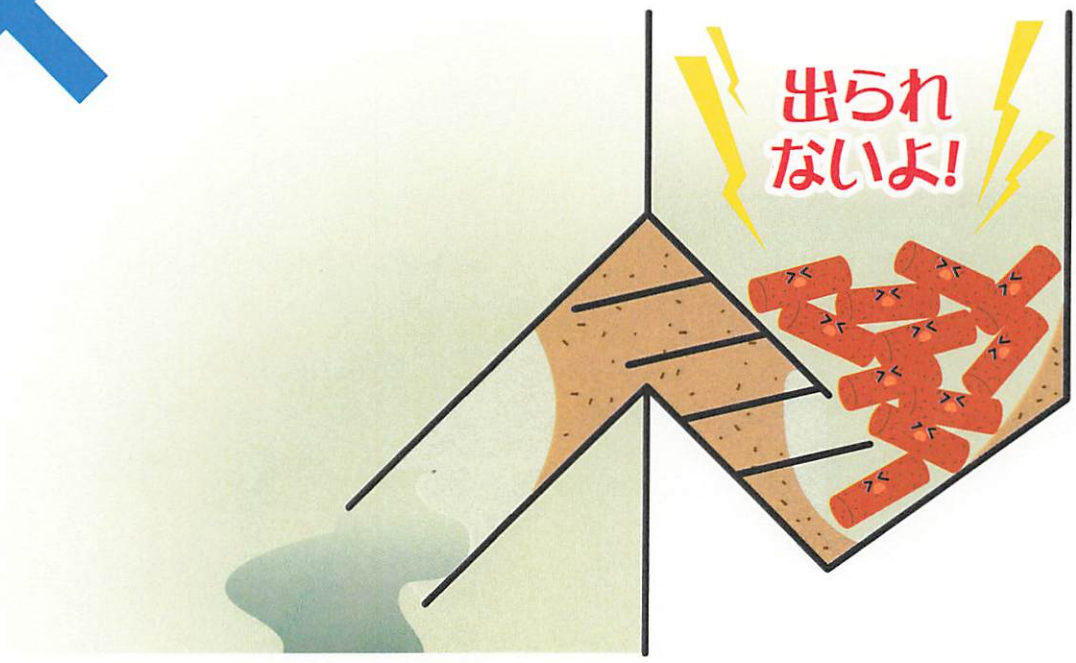


2:ペレットストーブが元気に動く為には…

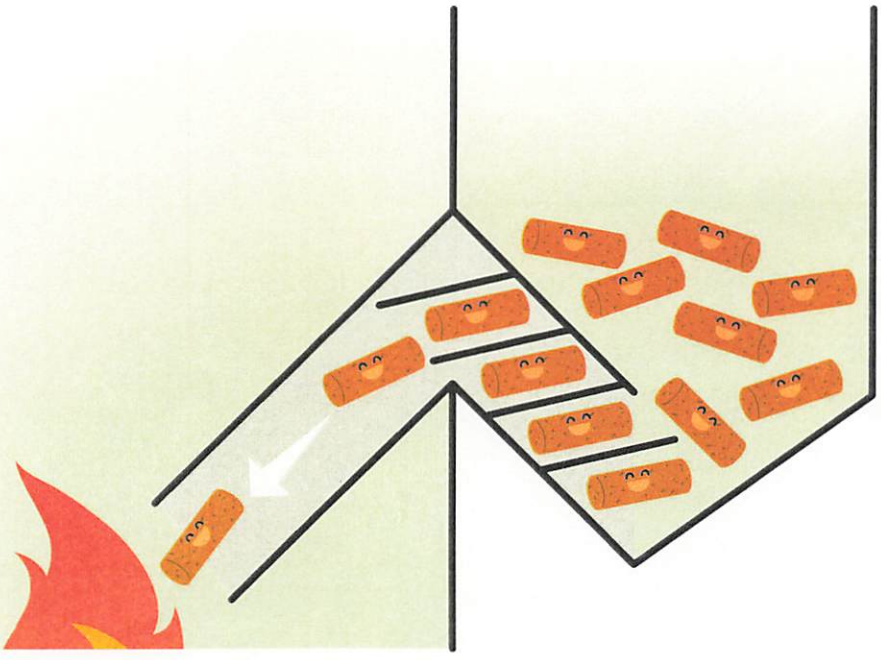
❼タンク内をキレイにする

タンク内にペレットの粉が溜まるとペレットがうまく燃焼室に入っていかない。

タンク内に粉が溜まると…



粉を取り除くと…



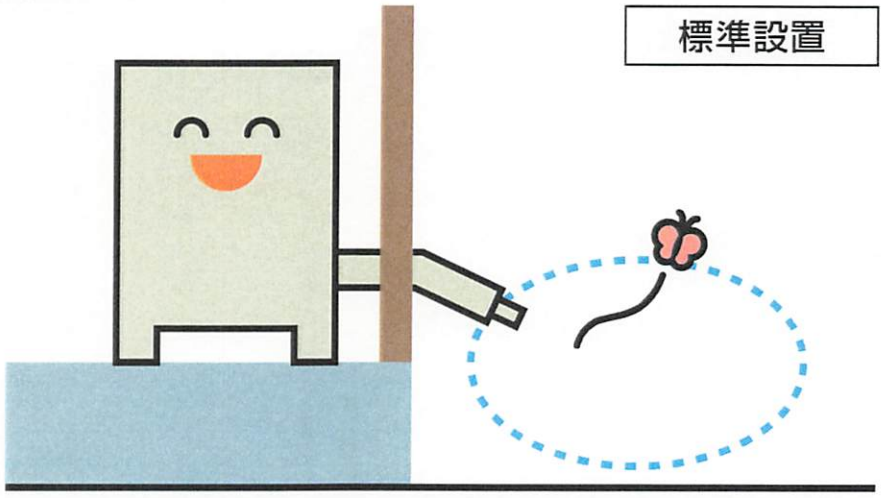
3:危険防止の為の対策

❶給排気口のすぐそばには、何もおかない。

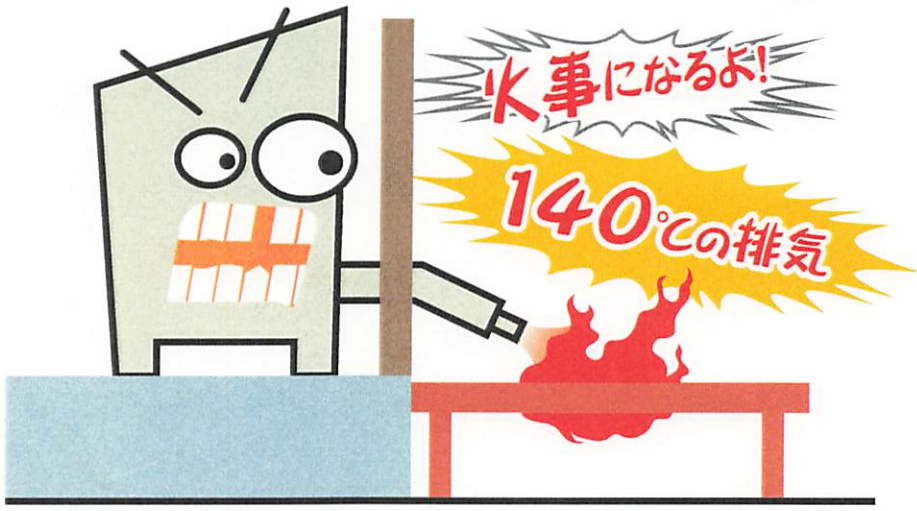
給排気口からは、140℃の燃焼ガスが排気されます。その為すぐそばに、ウッドデッキ等があると、火災の原因になります。

○

標準設置



×



○

ウッドデッキ等がある場合は…

室外立上排気で安全!

